

POINT

背景

2021年、高野さんが3代目社長に就任。社員の高齢化が進む中、職人の多い職場では人材育成の仕組みが未整備で、技術継承のための若手育成が課題になっていた。

コーディネーターのミッション

「社員を育てたい」という想いを強く思っている新社長と、ざっくばらんに議論できる社外の相談役になる。

コーディネート実践例

まずは3年間と育成期間が決まっている外国人労働者の育成のためのステップアップシート作成を目指し、インターン生3名をマッチング。その後、将来の組織体制のイメージや、現在の課題の整理を実施。



受入企業

株式会社 タカノ鐵工（宮城県南三陸町）

1994年に設立。土木・建築工事業、コンクリート業、鉄鋼業の企業5社を抱える高野グループの中の1社。鉄骨構造物の柱や梁などの制作から、鉄骨製作の為の図面や加工図を作成している。年間加工能力5,000t。

建設業



コーディネーター企業

株式会社 ESCCA（宮城県南三陸町）

2012年設立。「地域から自分らしく働く人を増やす」をテーマに、実践型インターン、副業マッチング、起業家支援を南三陸町にて推進。市街地開発や地域交通のコンサルティング、推進など、地域課題の解決にも取り組んでいる。

コンサルティング業・人材紹介業



株式会社 ESCCA

コーディネーター 鈴木 麻友さん

株式会社 タカノ鐵工

代表取締役 高野 真源さん

